

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●和田陽希騎手がJRA初勝利をあげる

3月22日(土)の2回中京3日・第3レースではエコロスパードが1着となり、同馬に騎乗した和田陽希騎手(栗東・杉山晴紀厩舎)はJRA初勝利(18戦目)をあげました。

●戸崎圭太騎手がJRA通算1600勝を達成

3月22日(土)の2回中山7日・第11レースとして行われたフラワーC(GⅢ)ではレーゼドラマが1着となり、同馬に騎乗した戸崎圭太騎手(美浦・田島俊明厩舎)は、史上17人目・現役8人目となるJRA通算1600勝(1万942戦目)を達成しました。

●松山騎手が1万3000回騎乗、武騎手は2万5000回騎乗を達成

3月22日(土)の1回阪神7日・第6レースでフルレゾンに騎乗した松山弘平騎手(栗東・フリー)は、史上28人目・現役16人目となるJRA通算1万3000回騎乗を達成しました。デビューから「16年0か月22日」の達成は福永祐一元騎手の「17年8か月30日」を、「35歳0か月22日」での達成は幸英明騎手の「36歳4か月23日」をそれぞれ更新する史上最速および最年少でのJRA通算1万3000回騎乗となります。また同日の第8レースでダノンターキッシュに騎乗した武豊騎手(栗東・フリー)は、中央競馬史上初となるJRA通算2万5000回騎乗を達成しました。

●4名の調教師が相次いでJRA初勝利を達成

3月22日(土)の1回阪神7日・第4レースではバックンレコードが1着となり、同馬を管理する秋山真一郎調教師(栗東)は、JRA初勝利(延べ4頭目)をあげました。翌23日(日)の2回中山8日・第3レースではメモリアカフェが1着となり、柄崎将寿調教師(美浦)がJRA初勝利(延べ4頭目)をマーク。さらに同日の1回阪神8日・第4レースではミトノオルフェが1着となつて前川恭子調教師(栗東)がJRA初勝利(延べ11頭目)を記録すると、第6レースではカナルビーグルが1着となり、佐藤悠太調教師(栗東)もJRA初勝利(延べ11頭目)をあげました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●京浜盃(大井)はナチュラルライズが人気に応じて圧勝

京浜盃(JpnⅡ、3歳、3月26日、大井、1700メートル)は、3番手から残り300メートルで先頭に立ったナチュラルライズ(横山武史騎手、牡、父キズナ)が後続を6馬身引き離し、単勝1.9倍の支持に応えました。逃がたりコースパロー(大井)が2着に粘り、アメージングは5着、2番人気のハッピーマンは8着に敗れています。

●シャマルが黒船賞(高知)を逃げ切って3連覇達成

黒船賞(JpnⅢ、3月25日、高知、1400メートル)は、先手を取った2番人気のシャマル(川須栄彦騎手、牡7歳、父スマートファルコン)が、2着のアラジンパローズ(兵庫)に4馬身差を付け、セイクリムズンに次ぐ史上2頭目の黒船賞3連覇を達成。単勝1.1倍で圧倒的人気のエンペラーワケアは3着、3番人気のアームズレインは5着、ラブタスは8着、ナムラフランクは最下位の12着でした。

●アーテルアストレアらが出走、4月3日の兵庫女王盃(園田)

兵庫女王盃(JpnⅢ、4月3日、園田、1870メートル)は、これが引退レースとなるアーテルアストレアが最有力、テンカジョウと昨年の覇者ライオットガールが続き、以下アンデスビエント、サンオークレア(兵庫)までが争覇圏内と考えられます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1ゴールデンズリップス～牝馬マルフーナが制す

2歳戦としては世界最高賞金(総賞金500万豪ドル＝約4億8550万円／1豪ドル97.1円で換算)を誇るG1ゴールデンズリップス(2歳、芝1200メートル)が、現地3月22日にオーストラリア・ニューサウスウェールズ州のローズヒルガーデンズ競馬場で行われました。勝ったのはD.レーン騎手が手綱を取ったマルフーナ(牝2歳、父スニッツェル、M.フリードマン厩舎)。好スタートから5、6番手でレースを進め、直線で抜け出しました。0.14馬身差の2着にG2トッドマンS2着のウォートン。マルフーナは今年2月のデビュー戦(芝1100メートル)に優勝。続く3月8日の前走G2リースリングSは2着でした。

●香港ダービー～キャップフェラが初勝利をダービーで飾る

香港調教の4歳馬によって全3戦で争われる4歳クラシックシリーズの最終戦にあたる香港ダービー(芝2000メートル)が3月23日に香港のシャティン競馬場で行われ、C.ウィリアムズ騎手を背に内ラチ沿いを先行したキャップフェラ(騾4歳、父スニッツェル、K.ルイ厩舎)が直線半ばで先頭に立つと、シリーズ第1戦の香港クラシックマイルを制したマイウィッシュの追い上げを短アタマ差退けて優勝しました。勝ったキャップフェラは母国オーストラリアでは13戦未勝利ながら、スプリングチャンピオンS2着、ローズヒルギニー3着とG1で善戦。香港移籍後も昨年12月の条件戦が2着、今年1月の香港クラシックマイルが12着、続く前走3月の香港クラシックCも9着でしたが、大一番で初勝利を挙げました。